



PUBLIC RELATIONS KAMIKOANI

広報

かみこあに

平成30年
8月号
No.715



暑さも吹き飛ばす！保育園プール開き

7月18日、かみこあに保育園で
プール開きが行われました。

主な内容

- | | |
|-------|---------------------|
| 2～3 P | かみこあにプロジェクト2018作家紹介 |
| 5 P | ふるさとフェスティバルご案内 |
| 6 P | 敬老会ご案内 |
| 10 P | 職員採用試験ご案内 |



上小阿仁村PRキャラクター
こあぴょん

18出展作家をご紹介します

國政 サトシ

【美術作家】



2012年、京都市立芸術大学大学院修士課程美術研究科修了。身の周りにある既製品を古代から続けられている染めや織といった工芸や手芸の技術と組み合わせ、モノに異なる視点を持ち込み造形にしている。

貝塚 歩

【画家】



最近は様々な土地を旅して、人間の生き様やあらゆる人の視点を見たり聞いたり、景色からイメージを増幅し制作。持ち運びに便利なクレヨンや紙、ポラロイドカメラなどを用いて瞬間での出来事を記録し、どこでも描く。

皆川 嘉左エ門

【農民彫刻家】



1942年秋田県十文字町に生まれる。高校卒業後、百姓だけの生き方に疑問を感じ、我流で彫刻を始める。1968年、NHK仙台放送「明るい農村」で農民彫刻家として全国に紹介される。1995年、減反画廊を開設。数々の賞を受賞。2018年、アトリエにて倒れ、永眠。

永沢 碧衣

【アーティスト】



1994年秋田県生まれ。秋田公立美術大学卒業。古今の人や生物が大地に残していく存在の痕跡、生の在り方に着目した絵画作品を展開している。主な展示に「第二回Inter-Youth国際青年絵画展」(2017)。秋田公立美術大学卒業研究作品展 2017 学長賞受賞。

三待 あかり

【アーティスト】



1998年奈良県生まれ。日常の中に隠れる自分の心を動かす何かを日々探し絵画、立体などの制作を通してそれらの可視化を試みる。第一回Crealab展(2017)、第二回Crealab展「鼓動」(2018)出品。

五月女 かおる

【アーティスト】



1996年栃木県生まれ。2015年秋田公立美術大学入学現在在籍中。「飼い犬」をモチーフとした立体作品を主に制作。

宮本 一行

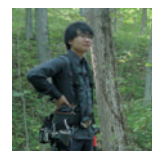
【アーティスト・パフォーマー】



1987年千葉県生まれ。2012年武蔵野美術大学大学院修了。人の網膜に映り込む光景と映像メディアが捉える光景との差異に注目し、実際に人は知覚していないが確かに網膜に写り込んでいる光景「仮説の風景」を制作している。

船山 哲郎

【アーティスト・研究者】



岩手県出身。札幌市立大学デザイン研究科修士課程修了。日本人の美的感覚に興味を持ち、風景と人間の知覚に着目した作品を多く制作。また、研究者として日本環境芸術学会に複数の研究報告を発表している。

ヤッホー！

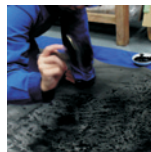
【研究制作チーム】



彫刻家/木村剛士、メディアアート/二宮諒、プロダクトデザイナー/山本崇弘によるチーム。人間の知覚やそれを利用した工学的システムを3Dデータによりモニュマンやタリスマンといった媒体に落とし込むことで作品化する。

長内 祐子

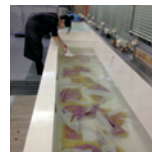
【アーティスト】



1995年青森県生まれ。青森県の「ねぶた祭り」での恐怖体験をきっかけに、現在、秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科で東北の祭りにある畏怖や気配を研究中。障子、墨、ロウを用い、人の気配を残した古民家などにも展示している。

森 香織

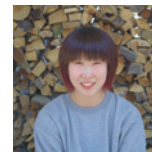
【染色家】



2000年東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻（染色）修了。2010年秋田公立美術工芸短期大学工芸美術学科助教。2013年秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻助教。専門分野である本友禅染を中心に型染・絞り染での作品制作を行う。

長門 あゆみ

【アーティスト】



1996年岩手県宮古市出身。2015年～秋田県秋田市在住。木彫、ドローイング（またはそれらを用いたインスタレーション、プロジェクト）作品を主に制作する。

かみこあにプロジェクト20

空気 ひとし

【アーティスト】

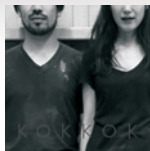


出身地：あきた
あきたのどこかにあるという空気工場の工場長。

日夜、空気製品の研究・開発に余念がない。

田中良典＋おのあきこ

【furniture studio KOKKOK】



田中良典、1990年生まれ。2013年武蔵野大学卒業。2016年

furniture studio KOKKOK設立。おのあきこ、1988年生まれ。2018年東京藝術大学卒業。KOKKOKバイトリダー。

皆川 嘉博

【彫刻家】



1968年秋田県生まれ。1998年東京藝術大学大学院博士後期課程満期退学。現在、秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻准教授。日本人のルーツを

探る「源流シリーズ」、未来を探る「Androidシリーズ」ほか、巨大な陶彫作品を制作し続けている。

齋藤 瑠璃子

【齋藤農園】



1984年秋田県仙北市西木町生まれ、2009年多摩美術大学絵画

学科油画専攻卒業。大学時代から秋田や故郷を題材とした作品を制作する。2011年秋田にもどり齋藤農園を営みながら農業と美術の可能性を模索中。

内田 聖良

【余白工事人・作家】



インスタレーション、コンセプトチュアルアート、パフォーマンスなどの方法で制作。既存のサービスやシステムの流用、中古品と自身が執筆したテキストを用いる。「余白」をつくる

「余白工事人」としても活動。

大越 円香

【美術作家】

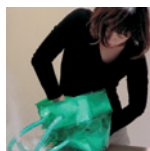


インスタレーション作品を主に制作する。2017年に文部科学省成長

分野を支える情報人材の育成拠点の形成(enPIT)組み込みシステム分野においてインスタレーション作品を制作。2018年度も同プロジェクトで作品制作予定。

迎 英里子

【彫刻家】



1990年兵庫県生まれ。2015年、京都市立芸術大学大学院美術

研究科彫刻専攻修了。屠畜や原子核分裂、国債の仕組みなど世の中にある様々な現象をモチーフとし、その仕組みを可視化した装置を使ったパフォーマンス作品を制作している。

大野 高輝

【ペインター】



生きていくことで得られる感情を、絵画表現の色と形に置き換える

手法を取っている。その時の素材は、自分の色彩感覚に対する扱いやすさとあまり肩肘張らない感じが気に入り、アクリルやシールなどの色を使っている。

尾花 賢一

【美術作家】



1981年群馬県生まれ。筑波大学芸術研究科修了。日常の風景やエ

ピソードから、ドローイングや彫刻を制作。虚構と現実を微妙な距離感で往来した「偽の物語」を表現し、現実世界に広がる矛盾や不条理をあぶり出すことを試みている。

かみこあアニメ研究会

【映像研究チーム】



秋田公立美術大学で映像表現を学ぶ学生と教員（萩原准教授）によ

って結成された研究チーム。旧沖田面小学校の校舎に残る「ふるさとかるた」の句に詠まれた場所を訪れて撮影したアニメーション作品を上映する。

高橋 希

【写真家】



1974年秋田県生まれ。明治大学卒業後、写真家・河村悦生氏に師事

し独立。2013年秋田へ戻る。冊子「yukariRo（ユカリロ）」を仲間と制作するほか、アートイベント「オジフェス」の企画開催など、幅広く活動している。

西永 怜央菜

【アーティスト】



1995年沖縄県浦添市生まれ。沖縄、ベトナムで子供時代を過ごす。

秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻を卒業。切り紙、映像、パフォーマンス等を用いながら、目の前には居ない誰かとコミュニケーションを試みる作品を作る。沖縄を拠点に作家活動を行う。

第20回 かみこあに芸能まつり

7月22日、生涯学習センターホールにて第20回かみこあに芸能まつりが開催されました。この行事は、芸能関係団体やグループが出演し「みんなが主役」の行事としてこれまで定着してきました。

当日はカラオケや舞踊、和太鼓、フラダンス、笑劇場など多様なジャンルで会場の観客を楽しませてくれました。

当日はたくさんの方が来場され、400席ほどある観客席はほぼ満席になるほど大盛況でした。



初出演 伊藤シゲ子さん

平成30年度秋田県消防協会 大館北田支部消防訓練大会

7月29日、上小阿仁村村民グラウンドで消防訓練大会が行われました。団員たちの1か月間に及ぶ練習の成果を発揮しました。競技は、規律訓練、ポンプ車操法、小型ポンプ操法の順で行われ、規律訓練の部では上小阿仁村消防団第3分団が3位、ポンプ車操法の部では上小阿仁村消防団第2分団が2位の成績を収める大健闘となりました。

〈結果〉

- ・ 規律訓練の部 3位
- ・ ポンプ車操法の部 2位
- ・ 小型ポンプ操法の部 5位



ポンプ車操法の部 放水の様子

夜空に映える白球 ナイターソフトボール交流大会

7月24日と25日にかけて、かみこあに村民グラウンドにおいて、ナイターソフトボール交流大会が行われました。

地域や職場で編成された4チームが参加し、競い合いました。

試合には女性も出場し、男性に負けず劣らずの活躍もみせました。

決勝は、勝ち進んだ、沖田面若勢団と北林組が対戦し、白熱した戦いが行われ、今年度は沖田面若勢団がみごと優勝を飾りました。



小沢田若勢団 V S 北林組

かみこあに保育園 全国保育研究大会へ

7月12日と13日の2日間、宮城県仙台市で開催された平成30年度第67回北海道・東北ブロック保育研究大会において、かみこあに保育園が「つながる子どもの育ち」をテーマに考える子どもの育ち「地域で共に考える子どもの育ち」をテーマに実践発表をしました。10年前から取り組み現在も継続している小学校との連携を紹介したもので、小学校と共に考えている接続期の育ちを研究してきた内容です。

35園発表した中の2園に推薦され、10月神奈川県川崎市で開催の全国保育研究大会で発表することになりました。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。



第67回北海道・東北ブロック保育研究大会